

JR線「上野駅」公園口前
 東京メトロ 銀座線・日比谷線「上野駅」徒歩5分
 京成線「京成上野駅」徒歩7分
 Located across from the Koenguchi exit of JR Ueno Station
 Five minutes walk from Ueno Station of the Ginza and Hibiya subway lines
 Seven minutes walk from Keiseiueno Station of the Keisei lines

2009年11月30日発行
 発行 東京文化会館
 編集 東京文化会館事業企画課
 印刷 日本印刷(株)

T110-8716 東京都台東区上野公園5-45
 03-3828-2111(代表)
<http://www.t-bunka.jp/>
 E-mail: oto@t-bunka.jp

音脈



CONTENTS

- 第7回東京音楽コンクール 優勝者インタビュー 2
- コラボレーションコンサート 6
- インフォメーション information 8
- 開館50周年に向けて 10
- 「東京文化会館開館50周年と
東京都交響楽団の45周年の歩みによせて」
- 木之下見のレンズは語る 12
- 「博識家・若杉弘」
- 冬の公演から 13
- 催し物案内1月~3月 14
- 音楽資料室より 20
- 都響ニュース Vol.14 21
- プレゼント 他 22

Vol.37
2010 Winter



第7回東京音楽コンクール 優勝者インタビュー

東京音楽コンクールは、
将来の音楽界を担う才能溢れるアーティストを発掘し、
育成・支援を行うことを目的として開催しています。
今回は残暑と台風の中、去る8月28日から31日にかけて、
東京文化会館大ホールで第7回東京音楽コンクールの本選が行われ、
各部門の優勝者に表彰式後、お話を伺いました。

第7回東京音楽コンクール審査結果

部門	順位	氏名	楽器・声部
木管 (8月28日)	第1位	極木 亜裕美	クラリネット
	第2位	押部 朋子	フルート
	第3位	濱崎 麻里子 [☆]	フルート
	入選	金橋 泰花	フルート
	第1位	加藤 大樹 [☆]	ピアノ
第2位	山田 翔		
第3位	花田 えり佳		
入選	村上 明子		
声楽 (8月30日)	第1位	清水 理恵 [☆]	ソプラノ
	第2位	鷲尾 麻衣	ソプラノ
	第3位	高橋 さやか	ソプラノ
	入選	佐藤 優子	ソプラノ
	第1位	大島 亮	ヴィオラ
弦楽 (8月31日)	第2位	加藤 文枝	チェロ
	第3位	寺内 詩織 [☆]	ヴァイオリン
	入選	小関 郁	ヴァイオリン

※[☆]印は、聴衆賞受賞者。



●木管部門優勝者
またのき あゆみ
極木亜裕美さん
(クラリネット)

極木：聴いて下さる皆様に感動を与えられるような演奏家になりたいと思っています。そのためには、さまざまなものに興味を持って自分自身の知識や感性を広げて、日々努力をし、この賞に負けぬよう精一杯頑張っていこうと思います。



●クラリネットを始めたきっかけ、音楽家の道に進もうと思ったきっかけは何ですか？

極木：吹奏楽部に入部し、全部の楽器を吹いてみたのですが、びんと来たのがクラリネットでした。クラリネットは、いろいろな表情がつけられ、甘く、ちょっと暗く悲しげでロマンティックな音色に惹かれたのだと思います。

●次に、このコンクールに応募したきっかけ、経緯を教えてください。

極木：審査委員が(師事している)鈴木良昭先生でしたので、また、本選では、オーケストラと共演できるので、良い経験になると思い応募しました。

●本選でオーケストラと共演してみ、いかがでしたか。ソロの2次予選とオーケと共演の本選では、どう感じましたか。

極木：今回初めてオーケストラと共演したので、とても緊張はしていましたが、自分の中でオーケストラの音を味わいながら、自分の音を楽しみながら演奏したいと思っていました。このコンクールのステージで演奏できて最高に幸せでした。

●2次予選のソロのときとの演奏の違いや苦労したことはありますか。

極木：2次予選では、何回もピアノ伴奏で練習をして本番に出ていましたが、本選では前日のオーケストラとの合わせと本番のゲネプロだけだったので、やはりそこが大変でした。

●審査結果発表のときはどんなお気持ちでしたか。

極木：まさか私が第1位を受賞出来るとは思っていなかったのですが、本当に驚いています。ありがとうございます。

●ところで、尊敬している演奏家や、理想としている演奏家などはいらっしゃいますか。

極木：尊敬している演奏家や理想としている演奏家は沢山います。ピアノ、弦楽器、声楽、管楽器等、さまざまなジャンルの方々で。日本のクラリネット奏者では、師匠の様になりたいと思っています。

●では最後に、今後どのような音楽家になりたいですか。



●ピアノ部門優勝者
かとうだい き
加藤大樹さん

●まず、ピアノを始めたきっかけ、音楽家の道に進もうと思ったきっかけをお願いします。

加藤：実際にピアノを弾き始めたのは4歳の頃だったと思います。初めは周りの子たちと同じように習い事のひとつとして始めましたが、ピアノを弾くことはとても好きでした。音楽の道に進む志をしたのは高校生になってからです。それまでも色々悩みはありましたが、音楽が自分の進む道だと決意しました。

●次に、このコンクールに応募したきっかけ、経緯を教えてください。

加藤：審査委員の先生方が現役で活躍されているピアニストでいらっしゃる、またソロ、コンチェルトとレパートリーも満遍なく要求されるコンクールであることに魅力を感じました。東京文化会館で演奏出来る事も大きな魅力でした。

●本選でオーケストラと共演してみ、いかがでしたか。ソロの2次予選との違いや工夫したところなどありますか。

加藤：ソロとコンチェルトは、演奏側の規模も、ホールの大きさも違います。1人での空間と時間を持ち表現するのと、オーケストラと「一緒に」どのように空間を作り上げるのか。自分の思いを聴衆の方々へはもちろん、オーケストラの方々にも伝えて共有しないと「一緒に」作り出すことは出来ない、演奏は違います。その点が工夫したところです。

●審査結果発表のときはどんなお気持ちでしたか。

加藤：審査結果発表のときはどんなときでもいつもドキドキするんですけど(笑)。自分の名前が呼ばれたときは本当に驚きもありましたし、嬉しかったです。そして、お世話になっている先生方、両親、友人などいつも支えて下さる多くの方々へ恩返しをすることが出来たということが1番嬉しかったです。

●ところで、尊敬している演奏家や理想としている演奏家はいらっしゃいますか。

加藤：演奏家という立場は作曲家が何を伝えたかったのか、それを敏感に感じ取り、作品に畏敬の念を持ち、自分なりの感性を通じて伝えていく使命があると思います。その使命を全うしてきた全ての演奏家の方々は僕に尊敬しています。個人的にはブレンデルやヴィルヘルム・ケンプの演奏は特に好きです。

●では最後に、今後どのような音楽家になりたいですか。

加藤：やはり自分も、作曲家が何を伝えたかったのか、200年300年と名前が残っているということは並大抵ではないと思います。作曲家が命をかけて残した深いメッセージを伝えていくこと、そして自分の演奏を聴いて下さる方の心の奥底に光を届け、勇気と希望が湧き立つような演奏ができる音楽家になりたいです。



●声楽部門優勝者
しみずり え
清水理恵さん
(ソプラノ)

●声楽を始めたきっかけ、音楽家になろうと思ったきっかけを教えてください。

清水：歌が好きで、小学生の頃、合唱団に入っていました。本当は教師になりたい、音楽学校に行ったんですが、途中でオペラの楽しさに目覚めてしまって、そこからオペラ歌手になりたいと思い、目指し始めました。

●次に、コンクールに応募したきっかけや経緯を教えてください。

清水：このコンクールが始まる前の「東京文化会館新進音楽家デビューコンサート」で、東京文化会館の大ホールで歌わせて頂いた事がとても楽しく、貴重な経験となりました。翌年から、コンクールが始まり、「いつか絶対受けたい」と思っていたのですが、今年が年齢制限最後の年ということもあり、「本選に進めたら、また東京文化会館の大ホールで、しかもオーケストラで歌わせて頂ける」と思い、応募させていただきました。

●本選でオーケストラと共演してみ、いかがでしたか。2次予選のピアノの伴奏のときとの違いや工夫、感じられたことなどありましたら。

清水：ピアノの伴奏のときは、ピアニストの方が私のわがままを察知して、その場の雰囲気でも合わせて下さるんですけど、オーケストラとなりますと、やはり1人ではなく大勢の方がいらっしゃる、急には進めないし、止まらないので、次を予感させるような歌い方ができるよう、また、自分がどう歌いたいか伝えられるよう、意識しました。

●審査結果発表のときはどんなお気持ちでしたか。

清水：すごくびっくりして、あまり言葉が出なくなっていました。

●ところで、尊敬している演奏家とか、理想としている声楽家とかいらっしゃいますか。

清水：マリア・カラスが大好きで、彼女の歌っているのは、歌っているだけでなく、言葉が劇的に聴こえるので、本当に尊敬しています。また、マリ・エッラ・デヴィーアのように、ベルカント唱法で深い音色で歌えるよう勉強していきたいと思っています。

●最後に、今後どのような声楽家になりたいと思いますか。

清水：お客様のハートにダイレクトに届く歌を歌えたいな、と思います。情熱的な面もあり、優しい部分もあり…聴いて下さる方の心を動かせるような歌を歌っていけたらいいなと思います。





●弦楽部門優勝者
おおしま りょう
大島 亮さん
(ヴィオラ)

●ヴィオラを始めたきっかけ、音楽家になろうと思ったきっかけを教えてください。
大島：大学卒業まではヴァイオリン科だったのですが、高校生のときに桐朋学園の室内楽の講習会があり、ヴィオラを担当して、「ヴィオラ、いいな」ってそのときに少し感じて、大学入学後、副科で岡田伸夫先生に習うようになりました。やはりヴィオラ独特の奏法等があるから専門の先生がいらっしゃるのかなというので習い始めて、実際、大学卒業後、性格的にヴィオラが好きだな、と思って変わったのがきっかけという流れなんですけど。

●ヴィオラの弦はヴァイオリンより5度も低いしアルト譜表だし、読み替えとかスムーズに出来るものなんですか。

大島：さすがに初めは苦勞しました。例えば、押さえている弦と弾く弦を間違えてしまって、開放弦を弾いてしまったりしていたんですが、今は逆にト音記号の方がたまにあやしくなったり…(笑)。

●次に、コンクールに応募したきっかけや経緯を教えてください。

大島：この1年くらい中途半端な状態が続いてしまって、「これでは駄目だ」と目標を優勝するとかではなく、「人の前で演奏することに恥じないように練習をする」状況に自分を置くために応募しました。

●今日共演された東フィルさんとはかなり馴染みらしいと伺ったのですが…。

大島：7、8回エキストラで呼んでいただいています。

●本選でオーケストラと共演してみて、2次予選はピアノの伴奏のソロで、違いや工夫したところ、大変だったところ等ありますか。

大島：一緒に弾いて下さったピアニストも本当に素晴らしい方なので、楽しかったし、オーケストラは本当にサポートしてくれて、本番で全然いつもと違うことやっても優しくフォローして下さったので、自分の出来る限りのことは出来たかな、と。実際、違うことといえば、練習のときにピアノ伴奏でコンチェルトを演奏すると、やはり小回りが利くので、急なテンポの変化とかも可能でしたが、オケだと何十人もいるので響きも残り方も違うし、間の取り方などタイムラグは昨日今日(リハーサル、ゲネプロ、本番)とやってみて勉強になりました。いつもははちゃめちゃやっても付いてきて下さっていたので、ピアノは。



●ところで、尊敬している演奏家や理想としている演奏家はいらっしゃいますか。今後どうい音楽家になりたいですか。

大島：お世話になっているヴィオラ奏者の先生方は、本当に皆さん尊敬しています。特定は出来ないんですが、僕がお世話になっているのは日本人の先生方が多いんですけども、ヴィオラという楽器をもっと広めたいとか、ヴィオリストを育てていきたいとか、ヴィオラ界の発展を意識されていて、そういう生き方が良いなと思って。僕も将来2、30年後、今の先生方と同じ年齢になったときに、次の世代の方たちに対して同じように役割を担えるような奏者になりたいです。もちろんそのためには、これから本当に勉強しないとダメですね。

アンサンブルが好きなので、オーケストラや室内楽を中心に活動したいです。そして、僕らと同世代のヴィオラの方たちと一緒にヴィオラ界を盛り上げていきたいです。



オーケストラ楽団員として出演された昨年度金管部門優勝者にもリハーサル終了後にお話を伺いました。

●第6回金管部門優勝者
ふじはらこうじろう
藤原功次郎さん
(トロンボーン/
日本フィルハーモニー交響楽団)

●昨年第6回の東京音楽コンクール金管部門で第1位を受賞後、日本フィルハーモニー交響楽団(以下、日フィル)に入団されたということですが、日フィルに入団されたきっかけを教えてください。

藤原：ちょうど1年前の東京音楽コンクールで入賞することが出来まして、その後、日フィルのトロンボーンの方から連絡があり、エキストラのお仕事の話をしていただきまして、団の温かい雰囲気に触れまして、「やっぱり演奏がしたい」「ここで音楽が出来たらいいな」と気持ちが高ぶっていた直後に、オーディションがあり、「絶対受けよう」と思っていて、12月に1次のオーディションがあり、年明けすぐに最終選考まで残り射止めました。

●コンクールがきっかけになって約半年後には入団が決まっていたということですね。

藤原：去年はコンクールの出場者として、本選で演奏して競って、今年は出場者をサポートする側のオーケストラのメンバーということで、同じ東京文化会館の大ホールの舞台上に立たれたわけですが、正直な気持ちを教えてください。

藤原：1年前のことを考えると「自分もここで演奏したんだな」という思いと、コンクールに出たとき、自分がまさか1年後に立っているとは思わなかったんですけども、頑張ったら頑張っ

ただだけ報われるんだなというのと、目標を持って夢を持って「夢は絶対かなう」ということを改めて感じさせられた仕事でした。幸せですし…嬉しい(笑)。

●夢のスタートラインに1年の時間をおいて立つということで感慨もひとしお?

藤原：幸せですね!

●この後(インタビュー後)は声楽部門の本選ということで、声楽と金管、ジャンルは違いますが、同じ音楽家としてこれから本選に臨む4人の出場者へ先輩として一言をお願いします。

藤原：短いリハーサル時間の中でオーケストラのたくさんの演奏家とのアンサンブルをすることが大切ですし、オーケストラと自分と、自分よがりになるのではなく、よくお互いの主張なり思いなりを尊重しあって、音楽を一緒に作り上げていくことが一番大切だと思いましたが、その中で自分の持ち味とか個性とかを存分に発揮したらきっとオーケストラのみんなが応えてくれると思うので、安心して自分の音楽をぶついたらいいんじゃないかなと思います。

●来年は第8回のコンクールになりますが、金管部門があります。金管奏者の先輩として、金管部門にチャレンジしようと思ってる後輩たちに何かメッセージがあればお願いします。

藤原：このコンクールは、1次のMD審査、2次のソロがあり、本選のオケと、音楽家として必要な演奏状況が全て備わっているコンクールだと思います。そのときそのときに学んだことを積み上げていって、学んだことを活かせるようにする事が大事だと思います。そして、自分が学ぼうとする目標と意志を持ってれば必ず良い結果が来るんじゃないかなと思います。経験をすることが大切です。

●最後に、毎日オーケストラの中で演奏をしていて、オーケストラの仕事、オーケストラでの音楽、楽しいですか。

藤原：もう、楽しすぎて(笑)。やはり幸せを感じますし、聴衆の皆様がいらっしゃるからこそ頑張れると思いますし、自分も聴衆の皆様や団員に愛されていると思いがら日々、音楽が出来るので、自分ももっとも「愛」を伝えていける音楽家になれれば、と思います。

このコンクールでは、入賞後に充実した入賞者支援を行っています。東京文化会館主催「モーニングコンサート」や都内区市町村共催「フレッシュ名曲コンサート」など、数々のコンサートに出演の機会が提供されます。その中でも、優勝者だけに与えられた特典が、「優勝者コンサート」。本選から半年、成長した彼らの実力や魅力を再確認することができます。本選を聴き逃した方も是非、ご来場ください。

第7回東京音楽コンクール優勝者コンサート

第7回東京音楽コンクール第1位入賞者のオーケストラとの共演によるコンサートです。新進アーティストによる演奏にどうぞご期待ください。

2010年2月11日(木・祝) 14:30開演(14:00開場) 会場/東京文化会館大ホール



極木亜裕美



大島亮



清水理恵



加藤大樹



梅田俊明



井上富美子

出演・曲目

極木亜裕美(クラリネット)*木管部門第1位
ウェバー■クラリネット協奏曲第1番 へ短調 Op.73

大島亮(ヴィオラ)*弦楽部門第1位
バルトーク■ヴィオラ協奏曲(遺作)

清水理恵(ソプラノ)*声楽部門第1位
グノー■歌劇「ロメオとジュリエット」より「私は夢に生きたい」
ベリーニ■歌劇「夢遊病の女」より「ああ、信じられない」
ヴェルディ■歌劇「ラ・トラヴィアータ」より
「ああ、そはかの人か〜花から花へ〜」

加藤大樹(ピアノ)*ピアノ部門第1位
プロコフィエフ■ピアノ協奏曲第3番 ハ長調 Op.26

指揮 ■梅田俊明

管弦楽 ■東京都交響楽団

司会 ■井上富美子

料金/(全席指定) 一般2,000円 都響会員1,800円
シルバー(65歳以上)/ハンディキャップ・
東京文化会館友の会会員/1,500円
ジュニア(18歳未満)/学生/1,000円

※都響会員割引は都響ガイドのみ取扱い。その他の各種割引チケットは、東京文化会館チケットサービスのみ取扱い(要証明書)。
※未就学児童の入場はご遠慮いただいております。

チケット発売中
《チケット取扱い》
東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650
都響ガイド 03-3822-0727
ローンチケット 0570-000-407 [Lコード31818]
イープラス(e+) <http://eplus.jp>

主催/東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)、読売新聞社、花王株式会社、東京都協賛/株式会社コンサートサービス、サントリーホールディングス株式会社、東京ガス株式会社、東京地下鉄株式会社、ニッセイ同和損害保険株式会社、森平舞台機構株式会社
東京文化会館ザイヤーパートナー/上野精養軒
助成(社)私的録音複製金管理協会(sarah)
協力/新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団

H・アール・カオス×大友直人×東京シティ・フィル

「中国の不思議な役人」 **新演出・新振付** バルトーク
 「瀕死の白鳥」 **world premiere** サン＝サーンス(動物の謝肉祭より「白鳥」)
 「ボレロ」 ラヴェル



大島早紀子



白河直子



大友直人

2005年、2008年のコラボレーションコンサートで大好評を博した、H・アール・カオスと大友直人&フルオーケストラの共演が再び実現。新演出・新振付による「中国の不思議な役人」と、度重なる熱望によって実現した感動作「ボレロ」の再演、そして新作の小作品「瀕死の白鳥」を加えた贅沢なプログラム。どうぞご期待ください。

ボレロ

圧倒的な感動と衝撃で話題を呼んだ奇跡の公演!

文:立木燐子

アクロバティックに舞う身体。劇的な緊迫感。コンテンポラリーダンスの最前線をリードする大島早紀子のダンスは、卓抜な発想で身体を重力から解放し、コスミックな空間性を呈示する。ワイヤーを駆使したダンスは、飛翔する身体の見事さばかりでなく、表現の彼方に遙かな思索の広がりを感じさせて魅了される。現代と鋭く共振する社会的なテーマや哲学的な思考が独特のダイナミズム溢れるダンスに変換されており、他に類を見ない。「ケレン」ととられかねないワイヤーによる動きは表現のテクニックとして極められ、耽美的な美意識で昇華された振付は、凛とした気品を放っている。

代表作の「春の祭典」(1996)では、犠牲というテーマを現代における女性への暴力—身体的のみならず“視線”の暴力として読み直し、社会的な主題として追及した。数年前に大友直人指揮で100人のオーケストラを擁して上演された舞台(愛知

芸術劇場)は圧巻であった。

カンパニー名は、天上的な陶醉—H、芸術—アール、混沌—カオスを意味し、その名の通り、総合芸術としてそれらの要素が溶け合い、猥雑なエネルギーを反転させて生命の本質に迫る表現を目指している。耽美的な混沌(カオス)にその鍵が潜む。

現代への鋭い批評性を秘めた大島のスリリングなダンスを支えるのが女性ばかりからなるH・アール・カオスの面々である。とりわけ、その中心ダンサー、たぐい稀な身体性を誇る白河直子は注目に値する。しなやかにして強靱。性差を超えた官能性を感じさせる白河のダンスは、烈しくも美しい。存在の全てをかけるかのような張り詰めた舞台は、大島の思考を純化し、的確に視覚化する。

大島早紀子は、最近では音楽との緊密なコラボレーションの下に表現が芸術的にますます深化されてきており、頼もしい。作

品の印象を一新させたと好評を博したりヒアルト・シュトラウスの「ダフネ」の日本初演(二期会・東京文化会館)をはじめとして、オペラやダンスオペラの演出・振付の仕事が続いている。

今回のコラボレーションコンサートでは、なんとと言っても『瀕死の白鳥』の初演が期待される。サン＝サーンスの同名の曲にのせた白河直子の静謐なソロで、生と死の間で浄められた肉体が一瞬一瞬をいとおむかのように踊られる。

再演されるベラ・バルトークの『中国の不思議な役人』とラヴェルの『ボレロ』は、音楽とダンスがその魅力いっばいに相乗的な関係で出会った記憶に残る名舞台だ。生/性と死がせめぎあい、果てしない欲望が増殖の果てに無=死へと突き進むバルトークの陰鬱な世界。音が祝祭的に積みあがり生のエネルギーが爆発するラヴェルの名曲。ともに、「身体」が象徴的なモチーフとして観る者をそれぞれの思索へといざなう。ダンスを雄弁に語る術を知る大島の才気溢れる振付が、音楽の真髄を引き出す大友直人の繊細にして豪胆な指揮と出会い、新たな化学反応を起こす。鶴首して待ちたい。



中国の不思議な役人

東京文化会館コラボレーションコンサート
 H・アール・カオス×大友直人×東京シティ・フィル
「中国の不思議な役人」「瀕死の白鳥」「ボレロ」
 新演出・新振付 world premiere

2010年1月30日(土) 17:00開演(16:30開場) 東京文化会館大ホール

【プログラム】

「中国の不思議な役人」新演出・新振付 バルトーク
 「瀕死の白鳥」world premiere サン＝サーンス(動物の謝肉祭より「白鳥」)
 「ボレロ」 ラヴェル

【構成・演出・振付】

大島早紀子

【舞踊】

白河直子
 木戸紫乃、小林史佳、斉木香里、
 泉水利枝、池成愛、野村真弓

【指揮】

大友直人

【管弦楽】

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

【スタッフ】

美術作品提供(ボレロ)／島田清徳
 美術／H・アール・カオス
 照明／足立恒
 舞台監督／北條孝
 衣装／朝月真次郎(ボレロ)
 宮本真倫(中国の不思議な役人)

【料金】

S席 7,000円 A席 5,000円 B席3,000円 Ex席 1,000円
 東京文化会館友の会割引 S席 5,600円 A席 4,000円 B席2,400円

【チケット問合せ】

東京文化会館チケットサービス：03-5685-0650
 チケットぴあ：0570-02-9999 [Pコード:399-445]
 ローソンチケット：0570-084-003 [Lコード:31819]
 0570-000-407(オペレーター対応/10:00~20:00)

e+(イープラス)：http://eplus.jp/

H・アール・カオス：http://h-art-chaos.com

※割引の取扱は、東京文化会館チケットサービスのみとなります。

※未就学児童の入場はご遠慮いただいております。

託児サービス(要予約・有料・1月22日締切)があります。マザーズ:0120-788-222

【主催】 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)

【協賛】 財団法人 東京二期会

【協力】 有限会社東京アートファクトリー

【問合せ】 東京文化会館事業企画課 03-3828-2111

東京文化会館《響の森》vol.27
ニューイヤーコンサート2010

アニバーサリー作曲家の名曲とウイナーワルツで祝うお正月オーケストラの聴き初めは「クラシックの殿堂」東京文化会館で1月3日(日) 15:00開演(14:20開場)

■会場 大ホール

- 出演 指揮●大友直人
ピアノ●小山実稚恵
管弦楽●東京都交響楽団
- 曲目 ヨハン・シュトラウス2世/春の声 op.410
ショパン/ピアノ協奏曲第1番 小短調 op.11
チャイコフスキー/交響曲第5番 小短調 op.64
- 料金 S席6,000円 A席4,000円 B席2,000円
12/25(金)都響「第九」とのセット券
S席4,800円 A席3,200円(200組限定)
東京文化会館友の会会員
S席4,800円 A席3,200円
都響会員 S席5,400円 A席3,600円
ジュニア(18歳未満)・学生
S席3,000円 A席2,000円(200席限定)
シルバー(65歳以上) S席5,400円(200席限定)
ハンディキャップ(1~3級)
S席3,000円 A席2,000円 B席1,000円
(4~5級)
S席4,800円 A席3,200円 B席1,600円
(介添え1名まで同一料金)



大友直人
©Kaburagi-amnagroup



小山実稚恵
©Katsuo Sakayori

チケット発売中

※都響会員割引は都響ガイドのみ取扱。その他の各種割引チケットは、東京文化会館チケットサービスのみ取扱。
※託児サービス(要予約・有料・12/25(金)締切)があります。
(株)マザーズ0120-788-222

- 主催 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)
■協力 東京都交響楽団
■東京文化会館ザ・イヤーパートナー:上野精養軒
■制作 東京文化会館事業企画課

チケット取扱い TS 都響 03-3828-2111

ティータイムコンサート

2月12日(金) 13:00~

- 会場 大ホールロビー
■料金 無料
■主催 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)
東京都交響楽団



東京文化会館モーニングコンサート

500円で楽しむ、朝の1時間コンサート。
11:00-12:00(10:30開場)

- 料金 全席自由500円(一回券)チケット発売中
■協賛 上野中央通り商店会
■会場 小ホール

Vol.33 1月5日(火)

- 出演 ピアノ●北村 朋幹
※第3回東京音楽コンクールピアノ部門第1位および審査員大賞
- 曲目 ヘンデル/ハープシコード組曲 第1巻より 第5番
ホ長調 BWV.430「調子の良い鍛冶屋」
クーペラン/クラヴサン曲集より ほか



北村朋幹

Vol.34 2月17日(水)

- 出演 ヴァイオリン●泉 沙織※第6回東京音楽コンクール弦楽部門第1位
ピアノ●森 タ希子
- 曲目 プラームス/ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調
Op.100
ドビュッシー/ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ほか



泉沙織

Vol.35 3月10日(水)

- 出演 クラリネット●吉田 誠
※第5回東京音楽コンクール木管部門第1位および聴衆賞
- ピアノ●阿部加奈子
- 曲目 サン=サーンス/クラリネットソナタ 変ホ長調
ヴェルディ(ロヴェレーヨ編)/
「椿姫」の旋律による演奏会用幻想曲 ほか



吉田誠

チケット取扱い TS 03-3828-2111

東京文化会館公開リハーサル

1月20日(水) 11:30開始

■会場 大ホール

- 出演 指揮●井上道義
管弦楽●東京都交響楽団
- 曲目 ※演奏曲目及び演奏部分は未定です。
※未就学児童の入場はご遠慮いただいております。
- 料金 無料
■主催 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)
東京都交響楽団



井上道義
©BenjaminLee

●事前申込制(12月20日消印有効、抽選で700名)

※必ず往復ハガキでご応募ください。

往復ハガキ記入方法

往信・表 〒110-8716東京文化会館事業企画課「公開リハーサル・音脈」係
往信・裏 「公開リハーサル」・郵便番号・住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号・
希望人数(1名もしくは2名)

返信・表 郵便番号・住所・氏名

返信・裏 何も書かないでください

レクチャーコンサート2009-2010シーズン
「作曲家の挑戦」シリーズ(全5回)

小ホール649席の贅沢な空間で、第一線で活躍する旬のアーティストによるレクチャーと演奏を楽しむ、年間5回のコンサートシリーズ

- 料金 S席3,800円 A席2,800円 B席1,000円 ※各種割引あり
チケット発売日/第4回発売中(B席完売)
第5回12月13日(日)一般発売
※12月6日(日)東京文化会館友の会先行発売

■会場 小ホール

第4回「形式からの飛翔」1月15日(金) 19:00開演(18:30開場)

- 出演 ナビゲーター&ヴァイオリン●堀米ゆず子
ピアノ●津田裕也
- 曲目 プラームス/F.A.E.ソナタより「スケルツォ」ハ短調
ヴァイオリン・ソナタ第3番 二短調Op.108
J.S.バッハ/半音階的幻想曲とフーガ
二短調BWV903
無伴奏バルティータ第2番 二短調
BWV1004より「シャコンヌ」



堀米ゆず子
©影田正道



津田裕也
©武藤章

第5回「無伴奏チェロの探訪」3月5日(金) 19:00開演(18:30開場)

- 出演 ナビゲーター&チェロ●堤剛
- 曲目 J.S.バッハ/無伴奏チェロ組曲第6番
二長調BWV1012
レーガー/無伴奏チェロ組曲第2番 二短調Op.131c
コダーイ/無伴奏チェロ・ソナタOp.8



堤剛
©K.Miura

チケット取扱い TS 03-3828-2111

創造・楽落らいぶ Vol.11

一音楽家と落語家のコラボレーション

2月5日(金) 11:00-12:00(10:30開場)

■会場 小ホール

- 出演 落語●三遊亭遊雀 フルート●中瀬香寿子 ほか
- 第1部 ミニコンサート
■第2部 落語と音楽のコラボレーション「堪忍袋」
- 料金 全席自由 500円 チケット発売日/12月4日(金)
- 主催 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)
社団法人日本芸能実演家団体協議会(芸団協)
- 共催 社団法人落語芸術協会、日本音楽家ユニオン



三遊亭遊雀

チケット取扱い TS

◎チケットのお申込みは下記へ

- TS 東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650
チケットぴあ ☎0570-02-9999
e+ イープラス ☎http://eplus.jp/
03-3828-2111 ローソンチケット/クラシック・演劇専用回線 ☎0570-000-407
都響ガイド 03-3822-0727 (オペレーター 対応10時~20時)
※各種割引・東京文化会館友の会のチケット取扱いは、東京文化会館チケットサービスのみとなります。

TICKET SERVICE

第7回東京音楽コンクール優勝者コンサート

第7回東京音楽コンクール第1位入賞者のオーケストラとの共演によるコンサートです。
新進アーティストによる演奏にどうぞご期待ください。
2月11日(木・祝) 14:30開演(14:00開場)

■会場 大ホール

- 出演 クラリネット●極木亜裕美 *木管部門第1位
ヴァイオリン●大島亮 *弦楽部門第1位
ソプラノ●清水理恵 *声楽部門第1位
ピアノ●加藤大樹 *ピアノ部門第1位
指揮●梅田俊明
管弦楽●東京都交響楽団
司会●井上富美子
- 曲目 ウェーバー/クラリネット協奏曲第1番 へ短調 Op.73
バルトーク/ヴァイオリン協奏曲(遺作)
グノー/歌劇「ロメオとジュリエット」より「私は夢に生きたい」
ベッリーニ/歌劇「夢遊病の女」より「ああ、信じられない」
ヴェルディ/歌劇「ラトラヴィアータ」より
「ああ、そはかの人か〜花から花へ〜」
プロコフィエフ/ピアノ協奏曲第3番 八長調 Op.26
- 料金 全席指定2,000円 都響会員/1,800円
シルバー(65歳以上)・ハンディキャップ・東京文化会館友の会会員/1,500円
ジュニア(18歳未満)・学生/1,000円



梅田俊明



井上富美子

- 主催 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)、
読売新聞社、花王株式会社、東京都
- 協賛 株式会社コンサートサービス、サントリーホールディングス株式会社、
東京ガス株式会社、東京地下鉄株式会社、ニッセイ同和損害保険株式会社、
森舞台機構株式会社
- 助成 (社)私的録音補償金管理協会(sarah)
- 協力 新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、
東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、
読売日本交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団



極木亜裕美



大島亮



清水理恵



加藤大樹

チケット取扱い TS 都響 03-3828-2111

大友直人Produce ポピュラーウィーク2010

「クラシックの殿堂」東京文化会館が贈る、ポップでお洒落な5日間。日本を代表するポップス界の一流アーティストたちが、アコースティックでビュアなサウンドをお届けします。

- 2月24日(水) 原田真二 19:00開演
2月25日(木) 中川晃教 19:00開演
2月26日(金) 未定 19:00開演
2月27日(土) 未定 17:00開演
2月28日(日) 未定 17:00開演

■会場 小ホール

- 料金 全席指定(各公演)一般6,500円
チケット発売日/一般発売1月上旬予定

チケット取扱い TS キョードー東京/03-3498-9999

◎主催&お問い合わせ=東京文化会館事業企画課
03-3828-2111(代表) http://www.t-bunka.jp

※公演は都合により曲目等、変更の可能性がございますので、ご了承ください。
また、未就学児童の入場はご遠慮いただいております。

創設から東京文化会館と共に歩んできた東京都交響楽団。その紆余曲折を経た歴史を、チーフ・プロデューサーの守屋新氏に振り返っていただきました。

東京文化会館開館50周年と東京都交響楽団の45周年の

◆はじめに

2011年には東京文化会館の開館50周年と、来年都響45周年の節目を迎えて、ホールとオーケストラの歩みに思いを興し、ここに綴ってみる事にしました。

東京都は開都500年を記念して1961年に東京文化会館を建設、その4年後の1965年東京オリンピックの記念文化事業として都響を創設しました。私はその設立後4年目にチェロ奏者として入団しましたが、東京オリンピックの文化記念事業として東京都が設立したオーケストラが設立の翌年にはもう楽団存続の危機に直面「折角作っておきながら…」と夢を膨らませていたところで政争の具となってしまいそうになりがっかりしていました。幸いにも私の大卒の年から再び増員をすることとなり、かろうじて入団させていただきまし。楽団創立以来、都響は今日に至るまで、東京文化会館を主たる演奏会場としての使用だけでなく、オーケストラの本拠地としての施設を提供していただいています。

◆都内での音楽ホール事情が一変

東京文化会館が開館されるまでは日比谷公会堂か、新宿にある厚生年金会館、また元の文京公会堂などがオーケストラのメインホールだったように記憶しています。今のようにプロ・オーケストラの数も多くはなかった時代ですが、それでもオーケストラ演奏会場として、またオペラ・バレエの劇場として、東京文化会館は関係者の間では待望久しいホール建設でした。

本格的なオペラ上演の為の機能も備え、さらにオーケストラなどのコンサートホールとしての東京文化会館は当時一学生だった私にも、東京に漸く、しかも上野(当時の上野のイメージは悪く)に本格的な音楽の殿堂ホールが出来ると、衝撃的に伝わってきた事を思い出します。貧乏学生の私にとって、東京文化会館大ホールのようなコンサート会場で聴く一流の演奏会は、まだまだ先の夢のような出来事に思えました。開館後は都内各所で行われていたオペラ・バレエ・オーケストラ公演の殆どが、新しく出来た文化会館に場所を移して演奏されてくる状態に変貌していきまし。

◆都響の創設

東京都は「都響の本拠地上野の東京文化会館内に」との考えでリハーサルは地下のAリハーサル室を共用、それまで会館の展示ルーム(アトリエ)として使用していたところを都響の専用スペースとして事務局と楽員室に利用し、楽譜庫は事務局内に、また楽器庫は地下の一室を提供していただきました。

Aリハーサル室で行う練習は狭い、暗い、外の音が聞こえる、換気が悪い等など不満がいっぱいでした。それでも当時は他の民間オーケストラ並みか、それよりまだ恵まれているようでした。

オーケストラにとってホールは楽器です。毎日のリハーサルで磨くサウンドとホールのステージで鳴らすサウンドの格差はプレイヤーたちの大きなストレスになりました。

やがて、楽団員も増えて(創立時57名が5年後は80名に)、演奏曲目も大編成のものを取り上げる時期になり、いよいよAリハーサル室では練習にならないとの決断の時期を迎えました。

◆会館の小ホールのステージをリハーサルに使用

小ホールのステージを客席フロアまで下げて、指揮者はステージ正面奥に、弦楽器群がステージ面に陣取り、木管楽器群と金管楽器群は客席の列の間に専用の高い椅子をセット、そして打楽器群が中央の通路

に配置されるというような形で練習していました。

十分に空間は確保されたものの音響面での戸惑いは想像以上でした。夜には小ホールとしての本来の室内楽コンサート会場に戻さなければならず、毎日早朝からセットして、リハーサル後は直ちに撤去。スタッフの苦勞も言い尽くせないほどのものだったようです。

◆やがてリハーサル場を外部東京都関連施設に

都響は小ホールの便宜使用に限界を迎えてきました。楽団員の人数も100人を越すメジャー・オーケストラの体裁を整えてきており、都内各地の区民会館などのステージでリハーサルを行うようになって来まし。

同時に、楽団は専用のリハーサル場を東京都に要望しており、一時期、都響のリハーサルにも使えるように都立の芸術高校のホールを改造して利用していました。しかし、その施設も学校の施設であり、授業とリハーサルスケジュールが度重なり、折角都響の為に金をかけて改築したホールも使えなくなりました。

再び各地のホールを転々とする日々が続く、いよいよ自前の練習施設を持つことが急務となって来まし。各地のホール使用料にかかる費用だけでもかなりの支出、その上、日々の移動に伴う楽器の傷みや維持管理の費用も加わると莫大な費用の支出が増大しました。

ひとつの公演に3日間のリハーサル、本番を含めると4日間毎日会場を転々とすることも多く、専用の練習施設獲得は切実でした。当然、プレイヤーも指揮者も音作りで苦勞と苦心の連続だったといえます。

いまでもなく、指揮者や演奏家に、そしてオーケストラ愛好家にとっても、本番会場でリハーサルが出来たらと、願っています。そうなればリハーサル時間の短縮、楽器の維持管理費用、ホール借用料などの費用と時間がはるかに軽減されるはず。そこで創り出される固有のサウンドこそ、他のどのオーケストラでもない都響サウンドを堪能できるはず、との強い信念と願望があります。

しかし、緊急課題としては専用かそれに近い運用が可能な施設の獲得でした。

◆会館内に新たな練習場施設の建設

私たちの願いが東京都に届いて、また、別途新リハーサル棟の建設を要望していた東京文化会館の希望もかなえる形で、1984年東京文化会館に建設の為の予算をつけて会館敷地内(といっても隣接する土地の地下に)新リハーサル棟の建設がましまし。そして、待望のリハーサル棟が完成。

ただ、この経緯から新たに出来たりハーサル棟は東京文化会館の管理下、私たちの専用施設ではなく、リハーサル棟の利用が始まるときまざまな問題が浮上して来まし。計画段階では充分と思われた空間も100人を越すメンバーが大曲のマラーナーなどのリハーサルにはスペース的にまだまだ不十分で、特に合唱付の大曲などでは現在もやはり他のホールを借りることもしばしばです。

しかし、とにかく楽譜も楽器も同じフロアに、更には個人練習やアンサンブルの為に利用可能になって音作りの困難さ以外の不便さは解消されて来まし。

そして、現在ではリハーサル棟の使用も限りなく専用に利用できるようになりました。

歩みによせて

◆大阪に続いて東京にも世界に誇るコンサート専用ホール

世界に誇る国内で初の本格的なコンサート専用ホールが大阪に建設され、数年遅れて東京のド真ん中にサントリーホールが建設されました。

これがきっかけなのか判りませんが自治体が本格的なコンサート専用ホールやオペラなどの舞台芸術専門の施設の建設に方針転換を考え始めて来まし。

1990年、東京都も都民の要望に応える形で池袋に総合文化施設を建設しました。コンサート専用の大ホールと、演劇・オペラ・バレエなどに使用される中ホール、小ホール、リハーサル用の施設、また大会議室からいくつかの小会議室や展示室もセットされた、総合的な文化施設「東京芸術劇場」を開館しました。当時は全国的にもいわゆる多目的な市民会館が主流でしたから「いよいよ日本も欧米並みになって来まし」と実感したものです。

ただ残念だったことは、東京都がコンサート専用ホールを建設しても、そこに同じ東京都のソフト(都響)を、という発想には至らなかったことです。ハードとソフトが一体となった、いわばオーケストラにとって理想形にはなりませんでした。

◆オーケストラの活動拠点

大小様々な困難さはあるものの、東京都と都民、そして多くの愛好家に支えられて来まし都響です。常にこの音楽の殿堂ホールと共に歩んできたことは間違いありません。「東京文化会館にサポートされて都民のオーケストラとして45年間共に歩んできたな」と実感しています。

都響は主催公演以外にも、東京文化会館の主催による「響の森」コンサートをはじめ、夏の「夏休み子ども音楽会」、他ジャンルのアーティストとのコラボレーション等、数多くのステージを活用させていただきました。

活動拠点があるというだけでも誇りに思わなければならない日本の現状ではありますが、首都を代表するホール(ハード)とオーケストラ(ソフト)の両関係者が将来を見つめつつ改革して、日々問題にも改善を図っていかなければならないと思います。

◆劇場型コンサートホールの功罪

都内にはプロのオーケストラが10団体、オペラ団体も数団体が常時活動しています。さらには外来のオペラ・バレエ・オーケストラ等のコンサートが数え切れないほど公演を行い、東京はまさに世界一コンサートの数が多い都市です。しかも超一流の個人、団体による公演が都内各所のホールで連日連夜繰り広げられている現状です。

そして、都内にオペラ・バレエの専門ホールとして新国立劇場や他に



1969年1月5日 第24回都民コンサート

もオペラ・バレエも可能なホールが活動しています。コンサート専用ホールもサントリーホールや池袋の東京芸術劇場大ホール、ほかにも人気のあるホールが活動しています。

東京文化会館も根強い人気を支えられて、これから先もオペラ・バレエそしてオーケストラなどの演奏会場として連日稼働していくことでしょう。

首都圏の音楽ファンの多様な要望に応えるにはまだまだホールの数も必要かもしれません。50年の歴史が刻まれた東京文化会館への需要と期待はますます膨らみます。

しかし、私は多くの方が指摘するように、多目的性格を有するが為に起っている東京文化会館ならではの困難さも日々痛感しています。

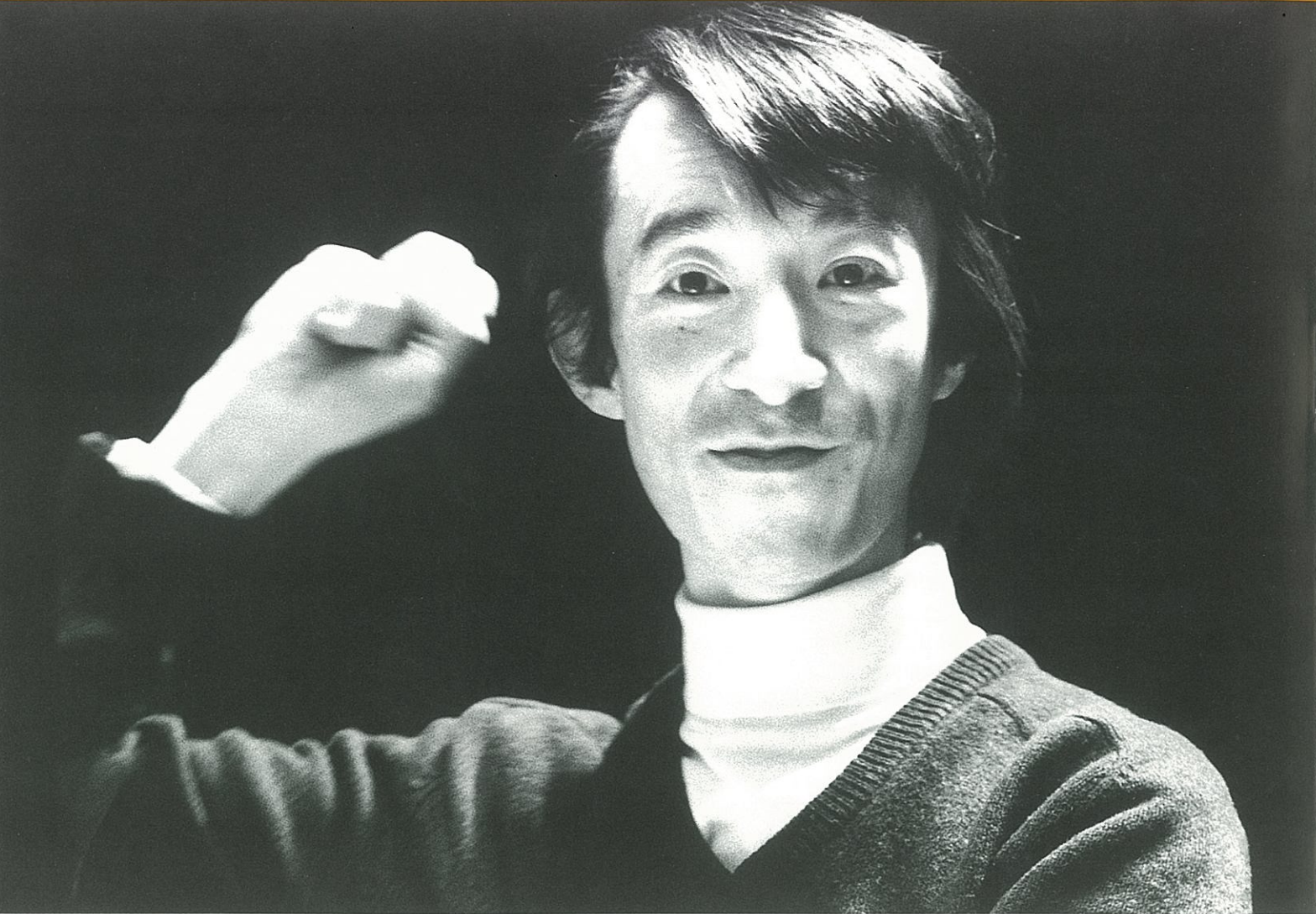
東京都が創設したハード(上野の東京文化会館、池袋の東京芸術劇場)とソフト(東京都交響楽団)が、実質的に一体となった最高の舞台芸術を提供していくことが私たちに今求められているのではないのでしょうか。

東京都交響楽団チーフ・プロデューサー 守屋 新



守屋 新 Shin Moriya

- 1944年 岡山市 生まれ
- 1965年 国立音楽大学に入学 器楽学部 チェロ専攻
- 1968年 国立音楽大学卒業
- 東京都交響楽団にチェロ奏者として入団
- 2001年 同楽団事務局演奏事業部に勤務
- 2006年 同楽団 プロデューサーに就任
- 2008年 同楽団 チーフ・プロデューサーに就任、現在に至る



若杉弘 1974.2.25 東京文化会館 (読売日本交響楽団第100回記念定期公演リハーサルより)

©Akira KINOSHITA

博識家・若杉弘

木之下晃 / 写真・文

若杉 弘氏が亡くなりました。74歳だった。指揮者としては、これから円熟期に入って行く年齢なので、本人が一番口惜しい気持ちがあったと思う。

私が若杉を最初に撮影したのは74年2月25日、東京文化会館での読売日響第100回記念定期演奏会だった。プログラムはベルリオーズの大作オペラ『トロイアの人々』の第2部『カルタゴのトロイ人』の日本初演で、キャストはトロイの英雄アエネアスが丹羽勝海、女王が長野羊奈子、あと戸田敏子、小池容子、三林輝夫など。このオペラは全体で4時間半もかかるため、ベルリオーズの生前には全曲が演奏されることはなく、没後10年目にやっと初演されたというわくつきのオペラで、日本初演は115年目であった。この時、若杉は第2部だけを採り上げ、演奏会形式で日本に初めて紹介したのである。

若杉は日本の指揮者の中では、ずば抜けた博識家で、特にヨーロッパの未知の大作を日本に紹介することに努力を傾けていた。この演奏会も、そうした意欲の表れであった。

当日、私はリハーサルからカメラを構えていた。その時、若杉は38歳の若さ、読売日響常任指揮者に抜擢されて2年目の新しい時代を拓いて行く期待を担う旬の人という感じで、本人もこの大作の初演に意気が昂揚していた。彼は生来、瘦身の体型で、指揮姿はあたかもピノキオ

を想わすところがあって、「ピノさん」と愛称。スマートな指揮ぶりには芯の強いエネルギーが充満していた。

その後、彼は77年にケルン放送響の首席指揮者に就任。拠点を海外に移した。私は79年にケルンとデュッセルドルフで、彼の活躍ぶりを取材した。

そのケルン時代、彼が提示した年間プログラムがユニークで話題を呼んでいた。初年度が「新ウィーン楽派を顧りみて」と題して、シェーンベルク、ベルク、ウェーベルンとブラームス、ベートーヴェン、モーツァルトを対比させ、2年目は「音楽における印象派?」とは何かと、ドビュッシー、ラヴェル、プーランクなどを美学的見地から捉え、3年目は「ストラヴィンスキーとは誰れ?」と、一人の作曲家を作曲技法上から探求。まさに博識家若杉の面目躍如たるひと味違う視点が大きく評価されていた。

そうして81年にはデュッセルドルフのライン・ドイツ・オペラ音楽総監督に就任。日本人指揮者として初めてヨーロッパのオペラハウスの総監督の座に就く歴史的な快挙を為した。

85年からは東京都響の音楽監督に就任して、この東京文化会館に多くの足跡を残した。私は当時、東京都響の撮影を担当していたので、若杉を撮影する機会も多く、往時を懐しく思い起こしている。

創立45周年を迎える東京都交響楽団

現在、東京文化会館大ホールで定期演奏会を行っているオーケストラは東京都交響楽団のみとなっています。その東京都交響楽団(都響)が2010年、創立45周年を迎えます。

都響は1965年に東京オリンピックの記念文化事業の一環として設立、都民の日である10月1日に披露演奏会が東京文化会館で行われました。曲目はモーツァルト:歌劇「魔笛」序曲(大町陽一郎指揮)と交響曲第41番「ジュピター」(ハインツ・ホフマン指揮)、ヒンデミット:「気高き幻想」(ホフマン指揮)でした。

都響をリードする常任指揮者や音楽監督等に就任したのは、ハインツ・ホフマン、森正、渡邊暁雄、モーシェ・アツモン、ズデニェック・コシュラー、ペーター・マーク、ジャン・フルネ、若杉弘、ガリー・ベルティエニ、ジェイムズ・デブリースト。現在はエリアフ・フィンバル(プリンシパル・コンダクター)、小泉和裕(レジデント・コンダクター)が就任しています。

名匠ジャン・フルネと都響のパートナーシップは45年の歴史の中でもハイライトの一つとして挙げられるでしょう。1978年1月の初共演以来毎年のように共演し、1989年には名誉指揮者に就任。特筆すべきは、彼の引退公演のパートナーに都響を選んだことでしょう。この時フルネは92歳でした。「ジャン・フルネラストコンサート」と題された2005年12月21日の第619回定期演奏会、会場は東京文化会館でした。フルネは2008年11月に95歳で亡くなり、都響は永久名誉指揮者の称号を贈りました。また、東京文化会館で行われる定期演奏会に「マエストロ=フルネ・シート」と題し音楽専攻学生を対象に、無料鑑賞者を募集しています(詳しくは都響のホームページをご覧ください)。

2010年度に東京文化会館で行われる定期演奏会のラインナップは21頁の「都響ニュースVol.14」をご覧ください。エリアフ・フィンバルが3回登場し、マーラーやブルックナーを演奏します。また、サントリー

ホールで行われる定期演奏会Bシリーズでは、5月に大野和士が登場します。現在フランス国立リヨン歌劇場の首席指揮者を務め、世界各国のオペラハウスやオーケストラに客演している彼の公開コンサートデビューは1983年、都響との共演でした。近年では、2006年7月と2008年9月に共演しています。

そして、2010年1月より創立45周年記念企画が始まります。小ホールでは室内楽シリーズ「都響メンバーによる室内楽トークコンサート」がスタート。名手揃いの都響メンバーによる、様々な編成による室内楽を解説付きでお楽しみいただけます。都響設立時、リハーサルを小ホールで行ったこともありましたが(10~11頁の「東京文化会館開館50周年に向けて」の守屋都響チーフ・プロデューサーの記事もご参照ください)、演奏会のシリーズを始めるのはこれが初めてになります。

記念すべき第1回(Vol.1)は1月17日(日)に開催。「木管アンサンブルの楽しみ」と題し、木管の首席メンバーを中心に、モーツァルトとグノーを演奏します。Vol.2は3月19日(金)。三浦友理枝(ピアノ)をゲストに招き、「弦楽アンサンブルの楽しみ」と題し、メンデルスゾーン、ベートーヴェンの弦楽四重奏とシューマンのピアノ五重奏曲を演奏します。そして、2010年度は4回の演奏会が予定されています。

オーケストラが室内楽を主催公演で行うことは、世界的にはよくあることですが、日本のオーケストラで行うのは珍しいことです。室内楽シリーズの開始により、都響の魅力の新しい一面が見えてくるのではないのでしょうか。

また、創立45周年特別企画として、「カジュアルコンサート」を開催します。第1回は1月8日(金)、18時開演で会場は東京芸術劇場、約70分の公演です(休憩はありません)。今後、東京文化会館大ホールでも公演が予定されています。

都響創立45周年特別企画 都響メンバーによる室内楽トークコンサート

- Vol.1《木管アンサンブルの楽しみ》
- 日時/1月17日(日)14:00開演(13:20開場)

- 出演 フルート/柳原佑介
オーボエ/広田智之、大植圭太郎
クラリネット/三界秀実、野田祐介*
バセットホルン/伊藤圭、齋藤雄介*
ファゴット/岡本正之、向後崇雄、山田知史
ホルン/有馬純晴、西條貴人、野見山和子、和田博史、田島小春*、濱地宗*
- 曲目 モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」序曲
グノー/9つの管楽器のための小交響曲 変ロ長調
モーツァルト/13管楽器のためのセレナード第10番 変ロ長調 K.361
「グラン・パルティータ」

- Vol.2《弦楽アンサンブルの楽しみ》
- 日時/3月19日(金)19:00開演(18:20開場)

- 出演 ヴァイオリン/吉岡麻貴子、横山和加子
ヴィオラ/小林明子
チェロ/長谷部一郎
ピアノ/三浦友理枝*
- 曲目 メンデルスゾーン/弦楽四重奏のための4つの小品
op.81からアンダンテ
ベートーヴェン/弦楽四重奏曲第7番 へ長調 op.59-1
「ラズモフスキー第1番」
シューマン/ピアノ五重奏曲 変ホ長調 op.44

- チケット(2公演共通) 一回券/S¥4,000 A¥3,000
Vol.1+Vol.2セット券/各席上記金額の20%OFF
シルバーエイジ割引(65歳以上/各席10%OFF
ジュニア(18歳未満)/学生割引/各席20%OFF
都響ガイド、東京文化会館チケットサービス他で発売中

*特別出演

主催/財団法人東京都交響楽団 後援/東京都、東京都教育委員会

3日(日) 15:00 東京文化会館「響の森」vol.27「ニューイヤーコンサート2010」

7日(木) 19:00 第184回「宇宿允人の世界」ニューイヤーコンサート

8日(金) 18:30 13日(水) 18:30 ベルガモドニゼット劇場「椿姫」

13日(水) 13:00 「クラブ・ツーリズム賞切公演」

9日(土) 17:00 11日(月・祝) 15:00 「愛の妙薬」

14日(木) 18:30 都民劇場音楽サークル第574回定期公演

10日(日) 10:00 平成21年度 東京都高等学校文化祭音楽部門中央大会

17日(日) 15:00 19日(火) 18:30 東京バレエ団創立45周年記念公演「ラ・シルフィード」

18日(月) 18:30 マイ・キャストシリーズ[2]

20日(水) 11:30 東京文化会館公開リハーサル

21日(木) 19:00 東京都交響楽団 第692回定期演奏会

23日(土) 18:00 24日(日) 18:00 谷桃子バレエ団創立60周年記念公演4「ドン・キホーテ」

30日(土) 17:00 東京文化会館コラボレーションコンサート

休館日

4日(日) 19:00 うたのひととき「ソプラノ岡野登喜江 珠玉のオペラ・アリアを歌う」

5日(月) 11:00~12:00 東京文化会館モーニングコンサートVol.33

19:00 藤井一興ニューイヤーピアノリサイタル

6日(火) 19:00 アテフ・ハリム ヴァイオリンリサイタル

7日(水) 19:00 佐伯周子ベレンライター新シェール全集に拠るピアノソノ曲完全全曲演奏会第7回

8日(木) 19:00 永岡信幸ピアノリサイタル

9日(金) 14:00 犬飼新之介ピアノリサイタル

10日(土) 公演準備

11日(日) 14:00 吉岡孝悦ニューイヤーマリンバコンサート

12日(月) 19:00 寺田まりピアノリサイタル

13日(火) 19:00 木越洋の立つて弾くチェロvol.13

14日(水) 19:00 藤井菜穂子フルートリサイタル

15日(木) 19:00 レクチャーコンサート「作曲家の挑戦」

16日(金) 14:30 栗原利佳 ニコラ・ロッシ・ジョルダノ デュオリサイタル

17日(土) 14:00 都響メンバーによる室内楽トクコンサートvol.1

18日(日) 19:00 モルゴア・クァルテット第32回定期演奏会

19日(月) 19:00 プラス・ヘキサゴンコンサート

20日(火) 公演準備

21日(水) 19:00 2010都民芸術フェスティバル 室内楽シリーズNo.9

22日(木) 19:00 日本テレマン協会定期演奏会第192回公演

23日(金) 14:00 鈴木愛理ヴァイオリンリサイタル

19:00 オットー・ウイーンズ2010

24日(土) 14:00 城代さや香ヴァイオリンリサイタル

25日(日) 19:00 ロンドン交響楽団プラス・ウインテット

26日(月) 公演準備

27日(火) 18:45 日本モーツァルト協会1月例会

28日(水) 休館日

30日(金) 19:00 森下幸路ヴァイオリンリサイタル

31日(土) 14:00 新倉瞳チェロリサイタル

6
7
8

2010都民芸術フェスティバル 藤原歌劇団「カルメル会修道女の対話」

6日(土)15:00 7日(日)15:00

アラン・ギンガル(指揮) 東京フィルハーモニー交響楽団 藤原歌劇団合唱部



アラン・ギンガル 松本重孝 出口正子 佐藤亜希子

11
木

第7回東京音楽コンクール優勝者コンサート

11日(木)祝 14:30

梅田俊明(指揮) 東京都交響楽団 井上富美子(司会)



坂木亜裕美 大島亮 清水理恵 加藤大樹

17
21

2010都民芸術フェスティバル 東京二期会オペラ劇場「オテロ」

17日(水)18:30 18日(木)18:30 20日(土)14:00 21日(日)14:00

ロベルト・リッツィ・プリニョーリ(指揮) 東京都交響楽団 二期会合唱団



福井 敬 成田勝美 大島幾雄 大沼 徹

16日(火)17:00 青少年のための舞台芸術体験プログラム 「オテロ」公開リハーサル ※詳細はhttp://www.t-bunka.jp/

22
日

都民劇場音楽サークル第575回定期公演 ウィーン放送交響楽団

22日(月)19:00

ベルトラン・ドゥ・ペリー(指揮) ウィーン放送交響楽団



ベルトラン・ドゥ・ペリー グザヴィエ・ドゥ・メストレ

26
28
日

東京バレエ団創立45周年記念公演X 「シルヴィア」全3幕

26日(金)18:30 28日(日)15:00

ベンジャミン・ボープ(指揮) 東京ニューシティ管弦楽団

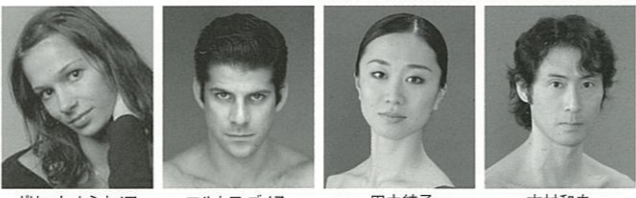
マイ・キャストシリーズ[3] 27日(土)15:00

ベンジャミン・ボープ(指揮) 東京ニューシティ管弦楽団

2月下旬 青少年のための舞台芸術体験プログラム 「シルヴィア」公開リハーサル ※詳細はhttp://www.t-bunka.jp/



シルヴィア ©Enrico Nawrath



ポーリーナ・セミアノワ マルセロ・ゴメス 田中結子 木村和夫

東京文化会館チケットサービスのご案内

東京文化会館で開催される公演のチケットをご購入いただけます。 ※一部公演を除く 他会場公演のチケットも多数お取り扱いがございます。是非ご利用ください。

営業時間 10:00~19:00(休館日を除く) TEL 03-5685-0650 HP http://www.t-bunka.jp/

19:00 小澤洋介チェロリサイタル

19:00 クリストフ・シェクラール バリトンリサイタル

19:00 高野二郎テノールリサイタル

19:00 第14回JILA音楽コンクール入賞・入選者エクセレントステージ

11:00 創造・楽落らいぶ Vol.11 音楽家と落語家のコラボレーション

19:00 松村英臣ピアノリサイタル

14:30 第35回緑の街サロンコンサートin東京~押部朋子(フルート)デビューリサイタル

14:00 アマチュアピアノコンクール優勝者によるピアノジョイントコンサートvol.6 Let's Enjoy Piano-ing!

19:00 伊福部昭の音楽 vol.2

19:00 小林五月ピアノリサイタル~シューマンチクルス Vol.6

19:00 大谷真美子ピアノリサイタル

14:00 バズ・ファイブ コンサート013

19:00 大八木恭子ピアノリサイタル

14:30 混声合唱団板橋アルモノー第10回定期演奏会

14:00 高嶋ちさ子ヴァイオリンリサイタル

休館日

11:00~12:00 東京文化会館モーニングコンサートVol.34

19:00 安田正昭ピアノリサイタル

19:00 天満敦子無伴奏ヴァイオリンリサイタル

18:45 日本モーツァルト協会2月例会「オペラの名曲を歌う」

18:00 コンセール・デグラッセ「ミサ曲短調」第4回演奏会

14:00 清水皇樹&清水敦子オールシューマンコンサート

18:30 第15回上野アミカルトランペットアンサンブル~東京芸術大学トランペット専攻生によるコンサート~

19:00 フランチェスコ・トリスターノ・ジュリメピアノリサイタル

大友直人Produce ポピュラーウィーク2010

24日(水)19:00 原田真二

25日(木)19:00 中川晃教

26日(金)19:00 未定

27日(土)17:00 未定

28日(日)17:00 未定

主催者およびその他の都合により、公演内容が変更になる場合がございます。また、公演日、席種によって、チケットがご用意できない場合もございます。詳しくは、各主催者にお問い合わせください。

【記号】四出演 四スタッフ 四曲目・演目 四料金 四お問い合わせ先 四電話番号 四ホームページ 四メール【略称】Alt(A)/アコーディオン(Acc)/アトサックス(A-sax) /バリトン(Br)/バリトンサックス(Br-sax) /バス(Bs) /バスバリトン(Bs-br)/コントラバス(Cb)/チェンバロ(Cem)/クラリネット(Cl)/カンターチナー(C-ten)/フゴット(Fg)/フルート(Fl)/フルートピアノ(Fp)/ギター(G)/ハープ(Hp)/ホルン(Hr)/キーボード(Key)/マリンバ(Mar)/マリンバ/マリンバ(Ms)/チェンバロ(Cb)/オルガン(Org)/パーカッション(Pc)/ピアノ(Pi)/ピッコロ(Picc)/ソプラノ(S)/ソプラノサックス(S-sax)/テナール(T)/トロンボーン(Tb)/ティンパニー(Tm)/トランペット(Tp)/テナールサックス(T-sax)/チューバ(Tub)/ヴァイオリン(Va)/チェロ(Vc)/ヴィブラフォン(Vib)/ヴァイオリン(Vn)/ヴァイオリン(Vo)

3 ニーナ・アナニアシヴィリ&グルジア国立バレエ「ジゼル」全2幕

3日(水) 19:00

ザ・カルマヘリーゼ(指揮) 東京ニューシティ管弦楽団



「ジゼル」 ©Gene Schlavone ©瀬戸秀美

2日(火) 17:00(予定) 青少年のための舞台芸術体験プログラム

5 「ロミオとジュリエット」全3幕

5日(金) 18:30

ザ・カルマヘリーゼ(指揮) 東京ニューシティ管弦楽団



「ロミオとジュリエット」

S19,000 A16,000 B13,000 C10,000 D7,000 E4,000

7 都民交響楽団第109回定期演奏会

7日(日) 14:00

末廣 誠(指揮) ハイドン:交響曲第104番「ロンドン」



都民交響楽団

12 バリ・オペラ座バレエ団「シンデレラ」全3幕

12日(金) 18:30 13日(土) 13:30/18:30 14日(日) 13:30 15日(月) 18:30

東京ニューシティ管弦楽団 シンデレラ



「シンデレラ」 ©Laurent Philippe

アニエス・ルテステュ(12日) マリ＝アニエス・ジロー(13日昼・14日)

3月中旬 青少年のための舞台芸術体験プログラム



「シンデレラ」 ©Icare

18 バリ・オペラ座バレエ団「ジゼル」全2幕

18日(木) 19:00 19日(金) 19:00 20日(土) 13:30/18:30 21日(日・祝) 13:30

東京フィルハーモニー交響楽団



「ジゼル」 ©Sébastien Mathé

ジゼル: アニエス・ルテステュ(18日・20日昼)

S25,000 A22,000 B19,000 C15,000 D11,000 E7,000

24 コンチエルトの夕べ

24日(水) 18:30

管我大介(指揮) オーケストラ・アンサンブル・ジャパン



管我大介



新 弥生 野々垣真理 大浦綾子 山口昌子

新 弥生(Pf) 野々垣真理(Pf) 大浦綾子(Cl) 山口昌子(Pf)

25 東京都交響楽団第694回定期演奏会

25日(木) 19:00

エリア・フィンバル(指揮) ブルックナー:交響曲第8番

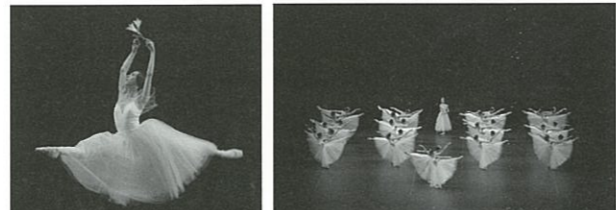


エリア・フィンバル ©竹原特治

27 2010都民芸術フェスティバル 日本バレエ協会「ジゼル」全2幕(メアリー・スキーピング版)

27日(土) 18:30 28日(日) 14:00/18:30

渡邊一正(指揮) ロイヤルメトロポリタン管弦楽団



2007都民劇場フェスティバル公演「ジゼル」より ©スタッフチス

1 19:00 リポー馬頭琴リサイタル

2 19:00 関野直樹ピアノコンサート

3 19:00 2010都民芸術フェスティバル室内楽シリーズNo.9

4 19:00 北島公彦ピアノリサイタル

5 19:00 レクチャーコンサート「作曲家の挑戦」シリーズ

6 13:30 第33回全部区職員合唱祭

7 14:00 諸田広美メゾソプラノリサイタル

8 19:00 山本修コントラバスリサイタル

9 19:00 月の203号室 コンサート

10 11:00~12:00 東京文化会館モーニングコンサートVol.35

19:00 原佳大とウィーンの仲間たち

11 19:00 アルプスに響くスイスヨーデルと民俗音楽の調べ

12 19:00 アンサンブル・コレディエ定期演奏会vol.21

13 19:00 河内純ピアノリサイタル

14 14:00 五郎部俊朗テノールコンサート

15 19:00 シュテファン・モラーピアノリサイタル

16 19:00 三浦一宏ピアノリサイタル

17 18:45 日本モーツァルト協会3月例会「弦楽五重奏の夕べ」

18 19:00 古典音楽協会第142回定期演奏会「イタリアバロックの輝き」

19 19:00 都響メンバーによる室内楽トークンコンサートVol.2

20 18:00 東京混声合唱団第221回定期演奏会

21 14:00 成田達輝ヴァイオリンリサイタル(東京音楽コンクール入賞者リサイタル)

22 休館日

24 東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2010-

24日(水) 19:00 アルゼンチン・タンゴの夕べ ~哀愁漂うタンゴの名曲を集めて

27 19:00 フルート室内楽の喜びvol.3

28 14:00 岡村喬生の「冬の旅」(14:00~プレトーク 14:30~「冬の歌」)

19:00 中島ゆみ子と仲間たちvol.5~シューマン生誕200年を記念して~

29 19:00 ヴォクスマーナ第22回定期演奏会

30 19:00 第20回前中楽子リサイタル 日本の歌をうたうPartXVIII(愛と平和への祈り)

31 19:00 須川展也コンサート

PRESENT

ご希望のプレゼント、また「音脈・公演情報」に対してのご意見やご感想、今後取り上げて欲しいテーマなどを明記の上、下記まで郵送またはメールでご応募ください。当選は発送をもってかえさせていただきます。

第7回東京音楽コンクール

優勝者コンサート招待券

2月11日(木・祝) 14:30開演

5組
10名様

12月20日(日)必着

公演の詳細は5ページ参照。

〒110-8716 台東区上野公園5-45
東京文化会館「音脈・公演情報」編集部「読者の声」係
E-mail:oto@t-bunka.jp

東京文化会館友の会「Club Wa-Wa」のご案内

最新の特典情報【先行発売・割引情報・公演ご招待等】は、東京文化会館ホームページからご覧頂けます。
友の会では会報誌Letter Club Wa-Waを月1回発行しています。

■年会費

推奨 ベーシックプラン(ホームページ、メールマガジン)¥2,100
クラシックプラン(会報誌ご郵送)¥2,625

■特典内容

- チケット割引販売 5~30%OFF
東京文化会館自主事業(一部公演を除く)をはじめ、東京文化会館が指定する公演のチケットを会員価格でご購入いただけます。
- チケット先行販売
東京文化会館が指定する公演のチケットを一般発売日前に購入いただけます。
- 公演ご招待
東京文化会館が指定する公演に抽選で会員の方をご招待
- 館内のレストラン・ショップの割引販売
東京文化会館内のレストランフォレストィーユとギフトショップで5%割引(一部対象外商品有)
- 広報誌の郵送
東京文化会館で年4回発行する広報誌「音脈・公演情報」をご自宅へご郵送
- ヤマハ銀座店で5%割引(一部対象外商品有)
- (財)東京都歴史文化財団の運営する施設の入館料等の割引(割引率につきましては、各施設により異なります)

お問い合わせ：東京文化会館友の会事務局 TEL.03-3828-1696(平日9:00~17:00)
年末年始休業：12月26日~1月4日
お申し込み：○ご来館 東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650(休館日を除く10:00~19:00)
○当館HP <http://www.t-bunka.jp/wawa/how.html>(24時間受付)

東京文化会館ギフトショップより

1年で最も寒い時期に、思わず心が温まるとびりりの新着グッズをギフトショップからご紹介。クラフツマンシップ溢れるカナダ製の白鳥とバレリーナが愛らしいウォータードームです。大きい方はオルゴールが付いており、音楽と共にバレリーナが回転しキラキラの雪が舞います。バレエがお好きな方へのギフトや自分へのごほうびにいかがですか？

《ウォータードーム》

大:オルゴール 白鳥の湖(バレリーナ) 8,610円(税込)
小:ウォーターグローブ バレリーナ 3,675円(税込)



■ カフェ

cafe HIBIKI

オープン・カフェ・ゾーンとして
お気軽にご利用いただけます。
4月にリニューアルオープンいたしました。
おいしいコーヒーでお持ち成いたします。

TEL&FAX 03-3821-9151
(東京文化会館1階・国立西洋美術館側)



■ ギフトショップ&チケットサービス

東京文化会館ギフトショップ

東京文化会館オリジナルグッズを中心に
音楽関連グッズを販売中♪
みなさまのお越しをお待ちしております。
(東京文化会館友の会会員5%OFF)

TEL 03-3828-2223
FAX 03-3828-2224
(東京文化会館1階 チケットカウンターとなり)



東京文化会館 チケットサービス

TEL&FAX 03-5685-0650
(東京文化会館1階)

■ フラワーショップ

CADEAUX カドー

花は空間に落ち着きをもたらし、
人の心を癒します…
大切な人に季節のフラワーを…
季節の花であしらった花束・アレンジメント
を用意してお待ちしております。
電話・FAXでのご予約も承ります。

TEL&FAX 03-3828-8741
(東京文化会館1階・受付正面)



Forestier

フォレスティエユ



Luxury Modern

ラグジュアリー・モダン

劇場の余韻に浸る空間



TEL 03-3821-9151
(東京文化会館2階)